

委託事業に係る県と公社等との随意契約状況調査票(平成26年度)

部等名 企画部  
課名 科学技術振興課

公社等名 (公財)沖縄科学技術振興センター

No.	委託業務名	委託業務内容	契約額(千円)	随意契約の方法			随意契約の理由	再委託の有無	再委託の理由	県の担当課
				1者随契	相見積	プロポーザル				
1	知的クラスター形成に向けた研究拠点構築事業委託業務	沖縄における知的クラスター形成に向けて研究交流を促進させるため、研究拠点(オープンリサーチセンター)の管理運営や、共同研究事業を実施する。	266,900	○			平成22年度にプロポーザル方式により委託先を決定した研究事業であり、継続して研究開発及びコーディネートを行う必要があることから、本委託業務の推進に必要な実績、技術及びノウハウを有する同財団と随意契約を行った。	○	共同研究により県内外大学や研究機関、企業の研究交流を促進しネットワーク構築を図るため、専門知識や技術を有する機関に再委託した。	科学技術振興課
2	沖縄感染症医療研究ネットワーク基盤構築事業委託業務	ATLの予防・治療を目的とした研究検査薬、臨床診断技術ならびに新規医薬品の開発基盤形成、および沖縄県独自のATL研究拠点の構築	40,480	○			平成24年度にプロポーザル方式により委託先を決定した研究事業であり、継続して研究開発及びコーディネートを行う必要があることから、本委託業務の推進に必要な実績、技術及びノウハウを有する同財団と随意契約を行った。	○	感染症研究ネットワークの構築を図るため、専門知識や技術を有する機関に再委託した。	科学技術振興課
3	ライフサイエンス・リサーチパークの拠点形成に関する調査業務	知的・産業クラスター形成を図るために、研究機関等の集積の拠点となるライフサイエンス・リサーチパークの形成に向けた現状と課題を整理し、今後の方向性を検討する調査業務	4,633			○	本調査事業は、ライフサイエンス研究やバイオ産業の動向等を踏まえ、ヒアリング等実施し、今後の方向性等を検討する事業であるため、専門的知識や人的ネットワークを有する事業者を選定する必要があることから、プロポーザル方式により委託先を公募した。その結果、当センターを含めた3者による共同企業体が受託先に選定された。	×	—	科学技術振興課

No.	委託業務名	委託業務内容	契約額(千円)	随意契約の方法			随意契約の理由	再委託の有無	再委託の理由	県の担当課
				1者随契	相見積	プロポーザル				
4	先端医療産業開発拠点形成事業	細胞加工施設の整備、再生医療に活用が可能な細胞の培養を行う人材の育成、企業等へのアンケートの実施及び沖縄県の政策への提言のとりまとめ、ネットワークの構築の推進及び再生医療関連の研究開発	270,679	○			平成25年度において、企画コンペによる公募を実施し、当法人が採択された。当事業は3年間の継続事業であり、昨年度の事業成果を活かすため、当法人への随意契約を行った。	○	当法人へ委託した業務には、人材育成、細胞調製施設の設置及び研究開発が含まれている。当業務内容については、事業趣旨である再生医療に関する民間企業と県内医学部の共同研究の促進の観点から、また専門性を強く必要とすることから、再委託を行った。	ものづくり振興課
5	平成26年度農林水産業基礎調査委託業務	本県の地域特性を最大限に生かすことができる沖縄型農林水産業の構築を目的とし、農林水産業の基礎調査を行うとともに、今後の農林水産政策のあり方について分析・検討する。	9,000	○			調査事業を実施するにあたり、(国)琉球大学等の学術研究機関や民間研究機関の専門的知識、人材ネットワーク機能を幅広く活用できる機関であるとともに、県と一体的に事業を取り組む体制がある。 これら産学官共同研究コーディネート及びネットワーク機能等を有する(公財)沖縄科学技術振興センターを委託先とした。	○	【共同調査機関】 (国)琉球大学 沖縄県農林水産業の基礎調査やその変遷に係る学術的分析を行うための業務を担当した。	農林水産総務課
合計			591,692	4	0	1		4		